

水について

高知市のよごれた水を処理する所が昭和小の校区にあるから調べました。よごれた水は、どのようにきれいになるのでしょうか。



フローリストあきよし花屋さんの水について調べました。

水の量 [?]

水の代金 [¥9000]

水の温度 [14度]



アクアリウム 熱帯魚屋さんの水についてしらべました。

水の量 [水そう大250リットル 小10リットル]

水の代金 [?]

水の温度 [26度くらい]



魚屋 魚屋さんの水について調べました。

水の量 「1か月200リットル ウメートル」

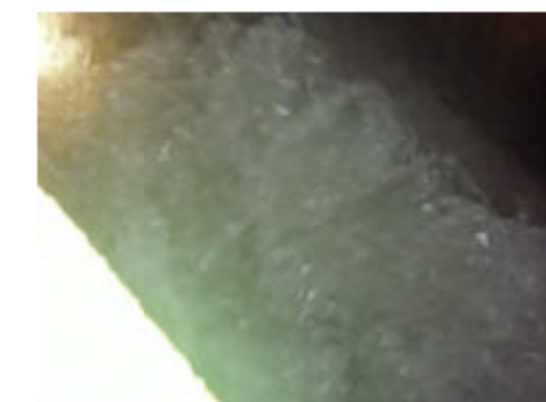
水の代金 「3500円」

水の温度 「ふつうの水とおなじです。」

水は地球すべてのもののためにある

三分 三日 三週間
空気 水 食べ物

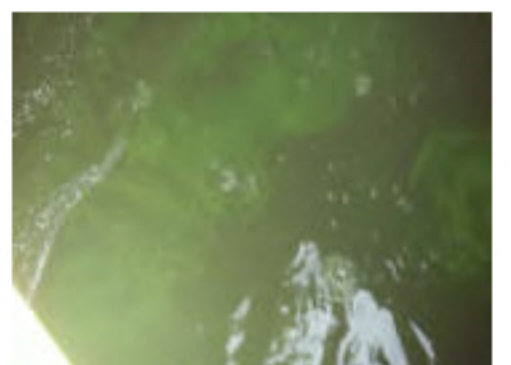
この言葉は、下知下水処理場の、おじさんが、言った言葉で、印象に残った言葉です。



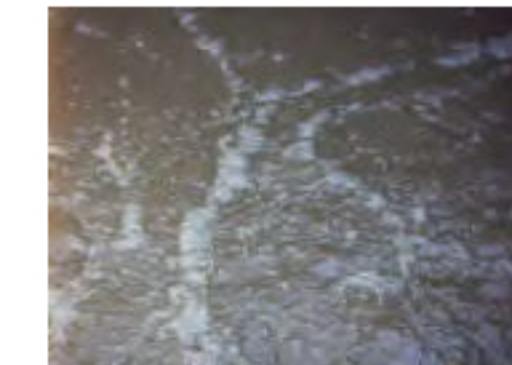
このようにつかった水は、下知下水処理場へいきます。そして、きれいにして、川や海に流します。



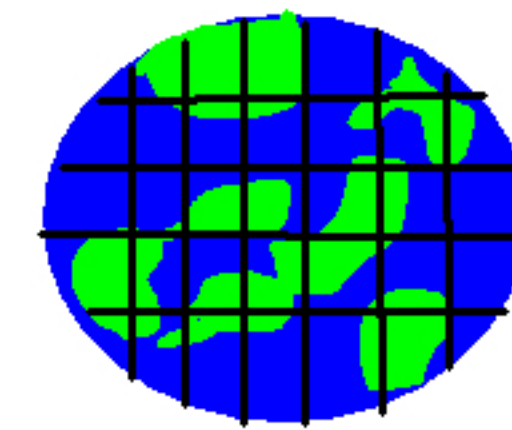
☆お店で使った水は、下水管を通してポンプじょうへいきます。スクリーンでゴミやすなをのけてちんでんちへいきます。



まず、ゴミや、砂をすずめます。そしてエアレーションタンクへいきます。そこでは、びせいぶつと水を、まぜます。またゴミやすなをすずめます。



そして、最終ちんでんちへ行き、ドロをすずめて消毒そうに行つて消毒をして、川や海へ流します。



水害のたいさく

この校区では、昔は水害になやまされていましたが今は、台風では小さなひがいしかでません。それがきになって調べました。今と昔のことをくらべながら見てください。

どうして、昔は水害がおこったのに今は、おこらないか

昔は、ていぼうが弱く、下水道がありませんでした。今は、ていぼうが強く、下水道もあるので、水害がおこる事は、すくない。

下水道の説明
雨水やまけない水をとってくれる

下水道に、ながしてはいけないうもの。

シンナーや、灯油、野菜のくずなどを、すてると、下水道が、つまつてこわれるので、すてないで！しんすいしてしまふ

説明
雨がたまってしまふのが、しんすい

しん水の絵→



水害と地震

近いしょう来南海大地震が起こるので過去の地震の記録を調べてひみつが分かりました。

水害について
高い津波は海底の水までくる。だから波が高い。地震の津波はふつうの津波より高い。

津波が起こる原因は地震や海底火山の爆発や海底地すべりなど。海底が上下すると津波が起こる。高潮という水害もある。高潮は海面の水のかさがふえ、津波が起こりやすくなる。

昭和40年に台風10号が高知に上陸した。家の中に水がはいって来た。



地割れは震度7にたつたときに起こる。



地震について
高知市にはしょうげきをきゅうしゅうする建物まである。昔の地震はすごい地震で地割れまであった。地震の前は変な色の雲か、たつまきみたいな雲ができる。

地割れが起こるとき道が通れなくなる。町じゅうの人がおびえる。